

# 県外派遣報告書

栃木県バスケットボール協会 審判部

大会名	第41回関東ミニバスケットボール大会	開催地	東京（八王子、府中）
報告者名 (所属連盟)	赤羽沙耶 平公一 新島薫 田中由紀子	派遣期間	令和2年1月3日～5日
参加者 (所属都県)	本部：平原勇次 嶋崎貴 松浦咲 五十嵐菜美 群馬：中島孝博 荻野崇 高橋陽平 根岸淳也 埼玉：山下大志 小峰哲治 小柳優紀 金井大樹 山梨：深澤雅俊 内藤教子 山本恵一 渡辺信也 神奈川：宇田川明彦 高橋哲平 久代真紀 荻原悠太 千葉：相木康岳 野田裕介 金田圭介 小幡浩志 茨城：飯島祐紀 根本優 林遼 村井義輝 栃木：赤羽沙耶 平公一 新島薫 田中由紀子 東京都審判員		

## 【審判会議内容】

講師：嶋崎 貴 氏

### ●チームワーク パフォーマンス●

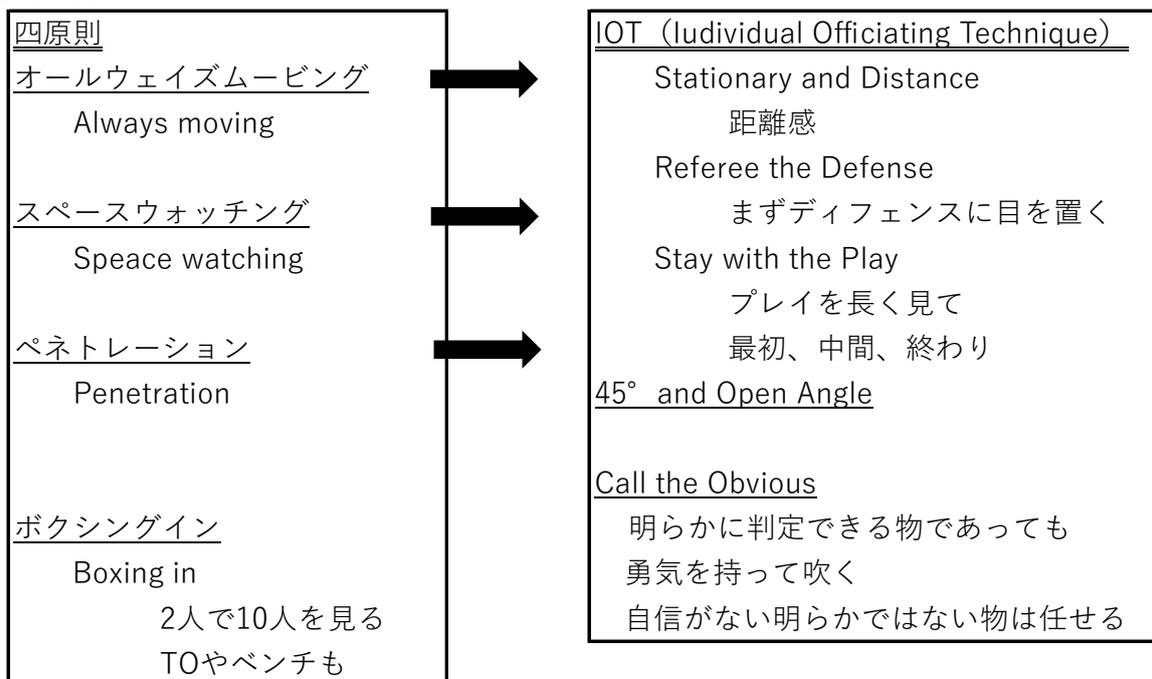
どのゲームでも、どのクルーでも同じ判定

正しい情報をもっていないと正しいことが見えてこない！！

↓

正しいルールの理解とメカニクスをもっていないと正しいプレーが見えない

### 《2PO Mechanics》



※ボクシングインは変わらず大切に続ける

### Stationary and Distanse

選手やボールの動きに対応して絶えず動き続ける

- ・プレーと適切な距離を保つ
- ・判定の為必要な範囲内でポジションアジャスト
- ・判定は静止してオフense、ディフェンスの「間」を見る
- ・ディフェンスがイリーガルなことをしていないか
- ・スペースを漠然と見ない。見るもの明確にする。

## Stay with the Play

トレイルのエリアでもリードが明確なものはセカンダリーとして鳴らしてOK

## 45° and Open Angle

## Call the Obvious

それぞれのレフリーが自身のプライマリーカバレッジで起こる明らかな反則は必ずコール

## ☆ リードの動き ☆

### ・ エリア⑥への移動

積極的に右に行くことを推奨

エリア①⑥に3ペアあるとき。トレイルと協力して判定⇒3ペアなくても気になれば見に行く  
右へ行くときは走らない

ボールがローポストに入る前に移動

ペイントにアクティブなマッチアップがいれば移動

ショットクロック5秒以下は移動しない

移動途中→ショット、ドライブ→中断あり（バックペダル）

### ・ エリア⑥へ移動するリスク

トレイル、リードが同じサイドにいる・・・

↓

エリア③④へボールが展開するなら直ぐ左へ戻る。

### 状況によって走ろう

メカ、マニュアルも大事だが状況によってのポジショニングを

注) 内側から外側を絶対に見ない。気になれば走ってでも良いから外側から。

×インサイドアウト ○アウトサイドイン

フットワーク ボールサイド

### ・ オールコートディフェンスへの対応

バックコートに3人以上のアクティブなディフェンス→すぐリード（エンド）に行かない

オールコートディフェンスはダイレクトに行って良い

## EOQ/EOG

カウント? or ノーカウント?  
ゲームクロック

}

トレイルレフリー

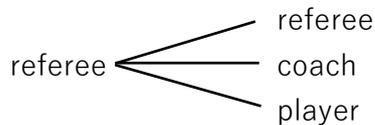
▼ 笛を吹く ジェスチャートレイルのみ

▼ リードはヘルプができる準備をしておく

▼ 決断することから逃げない

(新島薫)

« Communication »



referee-referee

① help(assist)

確信のある情報をもって、クルーやパートナーに情報を提供するCommunication

使用するケース：OOBのラストタッチ、フリースローシューターの指名等

注意する点：映像で振り返って耐えられるもの（100%以上の確信が必要）

② second opinion

起きた事象についてそれぞれのアングルやポジションから「どう見た」、

「どう判断するべきか」の意見を提供するCommunication

使用するケース：UF/DGの判断、異なった場所で別々のファールが起きたケース等

注意する点：まずはコーリングオフィシャルが判定をすること

referee-coach

- ・ ショート & クリア（POC：Point of Contact）  
⇒具体的なCommunication
  - ・ 見えた事実だけを伝える
  - ・ コーチを否定しない/クルーを否定しない
  - ・ コーチに必ずしも納得してもらう必要はない
  - ・ 冷静に対応（感情的/威圧的にならない）
  - ・ 無視をしない
- ①どの部分  
②どのようなコンタクト  
③結果どのようになったのか

※コーチとのCommunicationのポイント

- ・ 判定があっているか、間違っているかのCommunicationではない
- ・ 相手が間違っているわけでもなく、私が間違っているものでもない
- ・ 「意見交換」と「相手が何を言いたいのか」をヒアリングする
- ・ Communicationは重要な一方で、ゲームコントロールが必要な場面ではしっかりと線を引く
- ・ face to faceでは話さない（同じ方向を向いて話す）

（赤羽沙耶）

# 県外派遣 審判ミーティング記録表

審判員名 赤羽沙耶

割当日	令和2年1月4日(土)	相手審判	U 松浦拓未(東京)
カード	男子 東希望が丘(神奈川) - 戸田(埼玉)	審判主任	菅祐介(東京)
<p>・プライマリなど、2人でよく役割分担ができていた。</p> <p>・POCの確認。</p> <p>・タイマー管理。スローインの後タイマーがスタートしているか。タイマーがオポジットに一つで確認しにくいこともあるのでクルーワーク。スローインをさせなかったレフェリーが確認できると良い。</p> <p>・あまり影響はないが、メッセージとしてテンポセットで手の使い方など、コールしても良いケースがあった。</p>			

割当日	令和2年1月5日(日)	相手審判	U 荻原悠太(神奈川)
カード	男子 下妻ジャスティスJr.(茨城) - 朝霞台ユニオンズ(埼玉)	審判主任	出嶋博史(東京)
<p>・ドライブや手の使い方等、外の選手の判定は2人で一貫性があり良かった。</p> <p>・ビックマンに対する触れ合いはもう少し丁寧に。</p>			

割当日	令和2年1月5日(日)	相手審判	U 根岸優(茨城)
カード	女子 大宮中川(埼玉) - 国分寺(東京)	審判主任	上坂紘也(東京)
<p>・無駄なものを鳴らさずにスムーズにゲームを進められていた。</p> <p>・2人の間でトレイルからもリードからもアングルの取れにくい所で起きている現象をどう判定していくか。</p>			

## 【感想・県内審判員へ伝達したいこと】

1年ぶりにミニ連の関東大会に参加させて頂きました。2日間で3試合、最終日には1位リーグのゲームを担当させて頂き、とてもレベルが高く、また忙しいゲームでとても勉強になりました。

今回、講義では嶋崎氏からコミュニケーションについてお話を頂きました。コミュニケーションは自分自身の課題の一つでもあります。今大会は3試合吹かせていただいた中で、コミュニケーションを取る場面はありませんでしたが、今後のために引き出しを増やし強化していきたいと思います。それと同時に今回学んだことを県内の皆様へ広めていきたいと感じました。

最後になりますが今回の派遣に際しましてご配慮いただきました、渡邊諭県審判長、仲井ミニ連審判長はじめ県内審判員の皆様方に感謝申し上げます。また、3日間お世話になりました、東京都ミニ連審判員の皆様方、大会関係者各位に御礼申し上げます。

# 県外派遣 審判ミーティング記録表

審判員名 平公一

割当日	令和2年1月4日(土)	相手審判	CC 上村雄二(東京)
カード	男子 山手中華学校(神奈川) - ALL AZAMA(群馬)	審判主任	久我剛弘(東京)
<p>体格差があったが白チームの細かい手の出し方、体のコンタクトについて取り上げた方が良いケースもあった。青のプレスディフェンスには良く対応してコールしていた。トレイルの位置についてもう少し上がって全体を視野に入れたほうがより良い判定に繋がったケースがある。</p>			

割当日	令和2年1月4日(土)	相手審判	U 林遼(茨城)
カード	女子 氷川台JETS(東京) - 東希望が丘(神奈川)	審判主任	相木康岳(千葉)
<p>細かい手については良く取り上げていた。しかしマージナルなのか取り上げるべきかをもう少し整理すると良い。相手レフリーとの協力を意識しすぎ判定が分れたケースがあった。コミュニケーションを取りベンチへの説明をスムーズに行うと良い。</p>			

割当日	令和2年1月5日(日)	相手審判	U 小柳優紀(埼玉)
カード	女子 高崎北部(群馬) - 光華女子(東京)	審判主任	宇田川晶彦(神奈川)
<p>僅差でタフなゲームであったが最後までコントロールされていた。コーチのアピールに対してコミュニケーションも取れていたが青チームの発言にはインテグリティを警告しても良いケースもあった。プレゼンテーションはもう少しゆっくり行うとより良い。</p>			

割当日	令和2年1月5日(日)	相手審判	C 進藤道広(東京)
カード	男子 高崎北部(群馬) - 東希望が丘(神奈川)	審判主任	五十嵐菜美(本部)
<p>良く動きプレイを確認していたが、トレイルではステイする場面が多かった。一步でも動いてみたり、体の角度を変えたり工夫をし、決断し積極的にトレイルから判定するとより良い。</p>			

<p><b>【感想・県内審判員へ伝達したいこと】</b></p> <p>今回初めて関東ミニバスケットボール大会へ参加させて頂きました。まず、開催地である東京都の役員の皆様には準備段階から運営に至るまで様々な面でご配慮頂き深謝いたしました。</p> <p>初日の審判会議では嶋崎氏よりスライドを使用した2POの動き方、コミュニケーションの取り方等が受講出来コート上においての明確な目的が統一されました。他県の審判の方々からも試合前のプレゲームカンファレンスでは昨日の講習会を考慮し審判に臨んでおられました。</p> <p>個人としましては審判主任の方よりアドバイス頂きました、トレイルにおける動き、工夫、決断を今後の課題の一つとして判定力を高められるよう精進していきたいと存じます。</p> <p>今回このような経験をさせて頂きありがとうございました。</p>			
---	--	--	--

# 県外派遣 審判ミーティング記録表

審判員名 新島薫

割当日	令和2年1月4日(土)	相手審判	U 高橋哲平(神奈川)
カード	女子 並木シルバーフォックス(茨城) - 白幡若宮フェニックス(千葉)	審判主任	前川行二(東京)
割当日	令和2年1月4日(土)	相手審判	U 山本恵一(山梨)
カード	男子 バディ(東京) - 山手中華学校(神奈川)	審判主任	上村雄二(東京)
動きながらとアングルの悪さで、ディフェンスが悪いのかオフェンスが悪いのかの確認ができていない。			
平原勇次(本部)			

割当日	令和2年1月5日(日)	相手審判	C 菅祐介(東京)
カード	女子 明海(千葉) - 大宮中川(埼玉)	審判主任	中島孝博(本部)
スイッチサイドへのリスクを考えて見なければいけないものが無ければしない。			
トレイルを信じましょう。			
自分の見なければいけない所を決断しましょう。 菅祐介(東京)			

割当日	令和2年1月5日(日)	相手審判	U 佐藤俊太郎(東京)
カード	男子 牧丘(山梨) - 八栄MBC(千葉)	審判主任	山下大志(埼玉)

**【感想・県内審判員へ伝えたいこと】**

正しいルール、メカニクスを理解することが正しい判定へとつながることになりますが、状況に合わせてポジショニングを取ることも必要になってきます。その場で判断して動かなくてはなりません。その中でリスクを伴う事も考えて今自分が重視しなければいけない所も決断しなければいけません。講義を受けてから実際にコートに立ってみての動きを少し考えながらレフリングをしました。見に行くことで起きてしまったリスクも沢山ありました。行く事で見えたものも沢山ありました。決断が大切なことだと思えます。

# 県外派遣 審判ミートイング記録表

審判員名 田中由紀子

割当日	令和2年1月4日(土)	相手審判	C 金井竜也(東京)
カード	男子 朝霞台ユニオンズ(埼玉)－塩山(山梨)	審判主任	五十嵐菜美(本部)
<p>1試合通してトラベリングはどうだったか。OFが抜けてしまうようなケースは笛を入れた方が良い。リードポジションにいるときに遠くのボールまで気にしすぎている。その為常に緊張状態で良い判定に繋がらない。相手に任せて全体的に見ることも大切。トレイルではドライブに対する位置取りを工夫し、中に入るパターンや上に上がるパターンなど対応をパターン化してみることで動きやすくなるかもしれない。</p>			

割当日	令和2年1月4日(土)	相手審判	U 芹澤孝太(東京)
カード	女子 さしま(埼玉)－光華女子(東京)	審判主任	宇田川晶彦(神奈川)
<p>全体的には良くまとめることが出来たと思う。イリーガルな手の使い方は1～4Q通して判定で来た。リードでの細かい位置取りを工夫するとより良い判定や、吹き逃しが減るかと思う。体の向きや一步中にclosedownしたり、常にプレーに対応した位置取りを工夫していくこと。</p>			

割当日	令和2年1月5日(日)	相手審判	C 上杉侑里子(東京)
カード	男子 東希望が丘(神奈川)－牛久(茨城)	審判主任	五十嵐菜美(本部)
<p>3Qに負傷者が多かった原因は2Qのスクリーンプレイの吹き逃しにあると思う。見る位置の工夫やゲームの雰囲気やプレイヤーの特徴をもっと早く感じられる様になると良い。いい笛があってもPOCが合わないものがある。よりいい位置にいき待ち構えて判定するとPOCもあってくかと思う。OOB、疑問に思うのがあった。相手レフリーと協力できると良い。</p>			

割当日	令和2年1月5日(日)	相手審判	U 金井大樹(埼玉)
カード	女子 田富女子(山梨)－氷川台JETS(東京)	審判主任	進藤道広(東京)
<p>ゲームの途中からファウルが鳴り出した印象、一貫して吹かない。という選択もあったのでは。リバウンドの後のファウルがなかったか、笛を入れたほうがよかった。ゆっくりとしたゲームであったので、もう少しクロック管理を徹底してもらいたい。</p>			

## 【感想・県内審判員へ伝えたいこと】

夏に続き、冬の関東大会も派遣して頂きました。夏から更に成長しているチームの試合ですので、どの試合も見ごたえあるゲームになりました。今回、初日の講義では東京都の嶋崎氏より、コミュニケーションの取り方、2POマニュアルの確認についてご講義頂きました。コミュニケーションについては、今回各都道府県審判員の方が意識して試合に臨まれたのではないのではないかと思います。私自身、二日間そのことを頭に置き、大会期間を過ごしました。中でも印象に残ったものが、担当させて頂いた試合でCCを務めてくださったかたのコミュニケーションの仕方と対応の早さです。ベンチへの細かい気配りがあり、その後のWarningも早めの対応でしたが、上手なコミュニケーションでスムーズにゲームが進行されていました。今後、県内での各種大会において、ルールに沿って円滑にゲームを進行できるように、判定力はもちろんですが、コミュニケーション力も身につけ、より良いゲームとなるよう、日々の審判活動に取り組んでいきたいと思っております。

この度、沢山の方にご尽力いただき、関東大会という貴重な経験をさせて頂くことが出来ましたこと、深く感謝申し上げます。